

目標達成計画

作成日:平成26年2月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束は一切していない。全職員も正しく理解しているが、時々業務の多忙さから、何気なく発してしまう言葉の抑制、行動の抑制「ちょっと待って下さい」「危ないので座って下さい」がある。	「地域の中で、明るく、楽しく、笑顔で共に暮らす、そして人として心に花を咲かそう」職員全員が理念を共有し、入居者一人ひとりの想いを職員全員が理解し、共に寄り添って行けるようにする。	勉強会の方法を見直す。冊子を読み上げるだけではなく、事例や疑似体験等を行い、入居者の心情を理解出来るようにする。	3ヶ月
2	35	防災訓練に近隣住民参加の訓練が出来ていない。	入居者の安全を確保し、常に地域で安心感の持てる生活を送って頂く。	運営推進会議に地域住民・自治会長が委員に加わった事により、もっと地域と関わっていく事が出来、相互扶助の体勢を構築しながら近隣と周辺の方々が参加しやすい日程調整を行い早急に避難訓練の参加を要請する。	6ヶ月
3	4	運営推進会議の活用が不十分である。	地域密着型グループホームとして入居者が地域でつながりが持てる方法を提案してもらい、サービス向上に活かしていく。	運営推進会議がもっと有意義な会議になるよう、議題を事前に決め、活発な意見交換ができるようにする。議題の内容によっては担当の方の出席をお願いし協力関係を築くようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。